



一人でも入れる組合

# ユニオン神奈川

No. 130

2022年1月21日

発行：日本労働組合総連合会神奈川県連合会  
連合ユニオン神奈川事務局

〒231-0023

横浜市中区山下町24-1 ワークピア4F

TEL:045-211-1133 FAX:045-201-8866

(相談ダイヤル) 0120-154-052

## 年頭のいっしょ

連合ユニオン神奈川 執行委員長 吉坂義正



あけましておめでとう  
ございます。

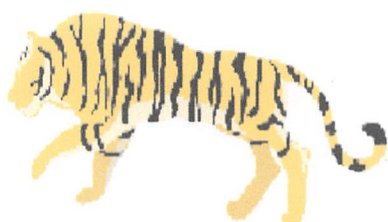
旧年中は、連合ユニオン神奈川の運動に対し、ご協力に感謝申し上げます。

さて、新型コロナウイルスと対峙して2年となります。昨年9月末の緊急事態宣言等の全面解除以降、ワクチン接種の効果もあり、減少傾向にありましたが、新種のオミクロン株による感染者が、全国的に拡大傾向にあり、いまだ収束が見通せない状況にあります。

コロナ禍で、多くの働く仲間とその家族が大きな影響を受け、特に弱い立場にある仲間ほど困難な状況におかれてきました。わが国では従前から貧困とあらゆる分野での格差の拡大、さらには加速する人口減少と超少子高齢化など、社会経済の持続可能性にかかわる課題が山積しています。同時に「デジタルトランスフォーメーション」や「カーボンニュートラル」など、大きな社会変革が押し寄せています。

こうした中で、連合ユニオン神奈川に寄せられた労働相談では、コロナ禍による経営の悪化を理由にする「解雇・雇止め」や「パワハラや嫌がらせ」などの相談件数は依然として多数をしめています。働く一人ひとは弱い存在であり、ひとりでは解決は難しく、職場で困っている人がいれば見て見ぬふりをしない、そして「一人ひとり」の問題を「私たちみんなの問題」として捉える仲間を増やし、解決することができる集団的労使関係を追及していかなければなりません。

私たちが労働運動は、組合員にとどまらず、多くの仲間の声と力を結集することが重要です。個別的労使紛争が拡大している状況化で、連合ユニオン神奈川のような「一人でも加盟できる組合」の役割が重要であり、今後も社会の変化に対応しつつ、労働相談・組織拡大に取り組んでまいります。



HAPPY NEW YEAR 2022

結びに、皆さまにとって素晴らしい年になりますことを、ご祈念申し上げますとともに、連合ユニオン神奈川に対します絶大なる、ご支援・ご協力をお願い申し上げます。のあいさついたします。

連合ユニオン神奈川  
「第23回定期総会」は  
書面決議開催とします。

新型コロナ感染拡大の状況から書面決議とします。  
議案を郵送しますので、  
ご検討をお願いします。

# 2021年度の活動を振替って

2021年度の労働相談件数は、昨年比101%とほぼ同程度で推移しました。2020年度は

顧問などから貴重な講義を受け3回実施できました。

新型コロナ禍を理由とする「休業補償の問題」が多かったのですが、2021年度は経営の悪化を理由とする「解雇・雇止め」の相談が多くなっています。また、「パワハラ」「嫌がらせ」の相談件数は、依然として多く推移しています。労働争議は新規に36件、うち前年からの継続分も含め25件解決しました。「まちかど労働相談」については、年4回が2回の開催となり、感染を恐れてか1回あたりの相談件数も減少しました。

連合ユニオン神奈川独自の学習会は全労済、寿生活館の高沢さん、紙屋

レクリエーション活動である「歴史散策」は感染を配慮して、屋外での久しぶりの交流に参加者も充実した1日を過ごすことができました。

若い人向けの活動として、高校夏季連携講座、定時制高校への出前講座、関東学院大学への連合寄付講座などへ講師派遣をしました。

新型コロナ禍の制約のために各種活動が制限された中でも緊張感を切らすこと無く、精一杯取り組んだ1年であったと言えます。

連合ユニオン神奈川  
書記長 鈴木久志 記

## 2021年ユニオン学習&交流会 第3回学習会報告

2021年12月17日、

「2021年度連合ユニオン神奈川第3回学習会」をワークピア横浜で開催しました。講師は連合ユニオン神奈川紙屋顧問にお願いし、「令和3年社会と労働組合の風景」をテーマに講演していただきました。

2021年度は、コロナ禍ではありましたが、防止対策をとりながら3回開催しました。今回の参加者は32名と最も多い人数でした。  
内容については、1つは、昨年10月の衆議院選挙の結果を踏まえた今日的な政治課題について、2つ目は今現在、感染が最も拡大しているコロナ

ウイルスは現在の自然環境問題と関連していること、3つ目は日本の産業の実態とそこで働く労働者の賃金をはじめとする労働環境の現状、そして、そうした社会環境の中で果たすべき労働組合の役割やその歴史的背景、などです。

講演の中で、最も印象に残っていることは「現在コロナを含む社会環境は、女性、非正規、学生アルバイト、パート労働者など弱い層を直撃していること、そのため格差が拡大し階層の固定化が進み、労働者の分断が深刻となってきたこと、労働組合の与党選択の進行も表れていること」



講義をする紙屋顧問

などでした。そのことを私たちも頭の隅において、連合ユニオン神奈川が果たせる弱い立場の労働者のための取り組みを進めていかなければならないと感じました。

学習会は、紙屋顧問の勉強によって裏付けられた歴史観と圧倒される熱弁で予定時間を少しオーバーはしたものの、有意義な学習会となりました。学習会后、感染防止に配慮しながら恒例の交流会を行いました。その場でも参加者の皆さんから、学習会の講演の内容について様々な感想が出され、交流会も有意義な時間を過ごすことができました。